

栲原こども園だより

芸術祭

こども園は「アート展」と名付け、1歳児から5歳児までの作品や運動会で地域の方と作った作品などを展示しました。作って遊ぶコーナーでは自然物などを使ったおもちゃ作りを、親子で楽しむ姿もありました。地域の方も見に来て下さりありがとうございました。ございました。



絵本の読み聞かせ

毎週火曜日は幼児組に、水曜日は乳児組に「絵本の小部屋」の方が絵本の読み聞かせに来てくれます。いつも、子どもたちの年齢や育ちに合わせ絵本を選んで持ち参し、楽しく色々な絵本に触れることができ、読み聞かせの時間を楽しみにしています。

絵本は、お話の世界に子どもたちを連れて行ってくれたり、心地よい言葉のくり返しを楽しんだりしながら、想像力を育んだり語彙力を伸ばす基礎を培ってくれます。

園では、毎週絵本を貸し出すことで、家庭でも絵本に親しみ親子のコミュニケーションにも役立ててほしいと願っています。

近年、読書離れが進んでいます。が、小さな頃から絵本に親しむことは、学校や社会へ出ていくための本に自ら進んでかわる姿にもつながっていく事だと思います。本は心豊かに生きていくために必要なもの、子どもたちにもこれからたくさん本に出会って、自分の世界感を広げてほしいです。



保育者一身体験

11月から保護者の「一身体験」を実施しています。どのように子どもたちが園で過ごしているのか実際に体験することで、子どもたちの成長に対する保護者の理解も深まり、地域の子育て力を高めることにもつながっています。お父さんやお母さんは一日、生活や遊びを共にすることで、家庭とは違う子どもの姿に驚いたりも

ています。

自分の子どもだけでなくクラスの子どもたちみんなと触れ合いながら過ごし、午後、子どもたちが寝ている時間には、体験の感想や子育ての悩みなどについて話したりもしています。



保護者の感想より

『一人ひとりの個性にあった対応をするのは難しいですね。ついつい「できないだろう」と、思ってしまう、手が出てしまいます。見守ってあげることも大切ですね。』

参観日(乳児組)

11月12日(水)に、保育所の参観日がありました。保護者の方は、各クラスで朝の排泄や手洗い、おやつを食べる様子などを一緒に手伝ったり見守ったりし「親子で触れ合い遊び」「どんぐりや小麦粉粘

土を使った遊び」「おもちゃ作り」などを体験しました。

また、須崎福祉保健所の保健師の山本和栄さんより「よりよい生活習慣のために」と題し「早寝早起き・親子での触れ合いの大切さ」についての講話を受け、よい学びの時間となりました。

お神祭に参加

今年も青組が、三島神社の神輿引きに参加させていただきました。おなばれや神楽も各クラスで見に行つて、栲原の伝統行事に触れることができました。また、子どもたちは各地区の神祭にもお家の方と行った様子を「牛鬼おつたで」「黒んぼ、怖かった」など園で話し、園でも神楽のリズムをとって友達と神楽ごっこをしたりして遊びに取り入れて親しんでいます。

